



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2023 年 4 月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、緩やかに回復しつつある。

最終需要面をみると、個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。観光は回復ペースが速まっている。住宅投資は横ばい圏内で推移している。公共投資は弱めの動きとなっている。設備投資は増加が続いている。

生産は、電子部品・デバイスの好調を主因に、増加している。企業の業況感は、全体として緩やかに改善している。雇用・所得環境をみると、雇用者所得は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締まりが進む中、賃金改善の動きが徐々に広がっている。消費者物価指数の前年比は、3%程度となった。

先行きについては、感染症の影響は一段と和らいでいくことが期待される。もっとも、物価上昇のほか、海外経済・金融を巡る不確実性の高まりなどの影響を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL：095-820-6110 FAX：095-820-0299

本資料は当店ホームページ(<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>)にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。財消費、サービス消費ともに、このところ回復の動きに広がりが見られる。

2月の商業動態統計は、前年を上回った。3月の乗用車新車登録台数は、前年を上回った。

観光は、回復ペースが速まっている。

2月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、前年を上回った。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

2月の新設住宅着工戸数は、前年を上回った。

公共投資は、弱めの動きとなっている。

2月の公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、増加が続いている。

2023年度の設備投資（2023年3月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

2月の建築物着工床面積は、前年を上回った。

2. 生産

生産は、電子部品・デバイスの好調を主因に、増加している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは、増加が続いており、高水準で推移している。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、減少が続いている。造船は、緩やかに増加している。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、雇用者所得（常用労働者数×一人当たり現金給与総額）は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締まりが進む中、賃金改善の動きが徐々に広がっている。

2月の有効求人倍率は、1.23倍となった。1月の雇用者所得は、前年を下回った。

4. 物価

2月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）の前年比は、3%程度となった。

5. 金融

2月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

6. 企業倒産

3月の県内企業倒産(負債総額 10 百万円以上)をみると、件数は前年並みとなった一方、負債総額は前年を下回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回（2023 年 3 月公表分）	今回（2023 年 4 月公表分）
景気全体 （引き上げ） （6 か月ぶり）	一部に物価上昇の影響がみられるものの、全体として持ち直している。	<u>緩やかに回復しつつある。</u>
個人消費 （引き上げ） （6 か月ぶり）	持ち直している。	<u>一部に物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。</u>
観光 （据え置き）	回復ペースが速まっている。	回復ペースが速まっている。
住宅投資 （据え置き）	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
公共投資 （据え置き）	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
設備投資 （表現変更）	大型案件が寄与して大幅に増加している。	<u>増加が続いている。</u>
生産 （据え置き）	電子部品・デバイスの好調を主因に、増加している。	電子部品・デバイスの好調を主因に、増加している。
雇用・所得 （据え置き）	雇用者所得は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締まりが進む中、賃金改善の動きが徐々に広がっている。	雇用者所得は依然として弱い動きとなっているものの、労働需給の引き締まりが進む中、賃金改善の動きが徐々に広がっている。

（注）下線は、前回からの変更・追加。